

常任委員会報告

12月定例会で付託された議案の審議内容(抜粋)

総務厚生常任委員会

●平成29年度大崎町一般会計補正予算(第4号)

◇合併処理浄化槽補助金(990万2千円)

質 .. 合併浄化槽の設置について、町内業者と町外業者の利用状況はどうであるか。

答 .. 今年度の現時点での実績件数は65件であり、町内業者は約3分の1の21件となっている。

要望 .. 今後、町内業者を利用した場合にはメリットを与えるなど、町内業者利用促進の在り方を検討されるよう要望した。

◇めいぶつチョイス販売委託料(30万円)

質 .. 手続方法はどのように行うのか。

答 .. マイナンバーカードを使って専用の機器でID番号を取得し、インターネットの活用により、クレジットカードや携帯電話のポイント、航空会社のマイルなどをマイナンバーカードに集約することで、各自治体のポイントを利用し、特産品と交換していくものである。

文教経済常任委員会

●大崎町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◇大崎クリーンセンター維持管理業務(19万円)

質 .. 補正増の要因は何か。

答 .. クリーンセンターの汚泥に係る運搬量が当初の見込み以上になることが予想されることから、今回補正するものである。

要望 .. 月別の汚泥処理量に変化があることから、汚泥の生成について減少できる要因を究明し、今後の汚泥処理量の削減に努めるよう要望した。

●大崎町法定外公共物管理条例の制定について(本条例の概要については、4ページを参照)

質 .. 本条例に「流水を利用するため、これを停滞し、又は引用する」行為は、町長の許可を受けなければならぬとあるが、この行為についてはどのようなことを想定しているのか。

答 .. 堰^{せき}を用いて水田等に用水として利用するための停滞や引用については町長の許可が必要になる。

質 .. 本条例が施行される平成30年4月以降は、多くの事案が発生すると思われるが、違反者は罰則の対象となり、過料が発生するのか。

答 .. まずは注意喚起を行い、改善が図られない場合は、改善命令を出ことになる。それでも改善されない場合は、罰則を適用する流れになる。この件については、関係する水利組合や土地改良区とも協議をして対応する事になる。本条例に抵触する行為については、担当課で迅速に対応する。なお、本条例に関する詳細な部分については規則で定める予定である。